



by ACSIVE

Instruction Manual  
[Warranty Certificate]

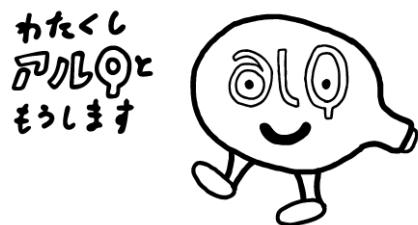
---

取扱説明書 [保証書付]

IMASEN

この度は、当社の aLQ by ACSIVE (アルク バイ アクシブ)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

製品を安全に正しくご使用いただくため、ご使用の前に必ず本取扱説明書に記載する安全に関する注意事項をよくお読みになり、ご理解されたうえでご使用ください。お読みになった後は、必ずいつでも見る事の出来る所に保管ください。安全にご使用頂き、みなさまの日常生活のお役に立てる事を願っております。



(アルキュー)

## ご注意いただきたいこと

aLQ by ACSIVE（アルク）は歩きの調子を整えるものです。歩けない方が歩けるようになるような魔法の機器ではありません。アルクには足首や膝、体重を支える機能や痛みをとる機能はありませんので、安全に歩行できない方は絶対にご使用にならないでください。

小さいお子様や認知症の方はアルクの性能や扱い方を十分に理解されていないおそれがあるので、一人でご使用にならないでください。

アルクは、体の外側に装着するものなので、機器が引っ掛けたり巻き込まれたりする外部要因に十分注意し、混雑している所や狭い場所でのご使用はおやめください。

安全に歩行できない状況でのご使用は、ケガや重大な事故に繋がることもあるので絶対にしないでください。

# CONTENTS

●aLQ by ACSIVEとは	1
●安全上のご注意	2
●基本注意事項	3-7
●日常点検・手入れ・保管方法	8
●各部名称	9,10
●装着方法	11-15
●装着後のチェック	16
●取外し方法	17
●故障かな？	18
●保証とアフターサービス・仕様	19
●保証書	20



by ACSIVE

aLQ by ACSIVE(アルク)は、安全に歩行ができる方の“歩行による健康促進・歩行による負担軽減”を使用目的にしています。モーターや電気を使わず、バネと振り子の動きが作用し、脚上げをアシストします。ウォーキングやハイキング、お買い物の、ご旅行の際など様々な生活の歩行シーンで手軽にご利用いただけます。

アルクは歩行促進・負担軽減機器であり、名古屋工業大学の佐野明人教授が15年以上研究・解明してきた受動歩行理論に基づいています。

- 本機を安全に正しくご使用頂くためには、正しい装着による操作が必要です。
  - この取扱説明書に記載されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分理解したうえでご使用ください。
  - 本機は、安全に歩行できる方の歩行による健康促進・負担軽減を使用目的につくられています。
  - この取扱説明書に記載されている操作方法や安全に関する注意事項は、本機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
  - この取扱説明書に書かれていない使い方をしたり、つぎの「基本注意事項」を遵守しなかった場合、本機が破損・故障したり、周囲の物の破壊、人身事故に繋がる可能性があります。
- この場合の損害等に対しては一切責任を負いかねますのでご留意ください。
- ご使用の前に、つぎの「基本注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  - 本取扱説明書には、ご使用に際して特に重要な案内事項を  警告、 注意のマークを使用して表現しています。
- これらのマークにより表現された内容は、以下の意味を持ちますので特に注意してください。

 警告	誤った取扱いをすると、死亡または*重傷を負う可能性のある内容を示します
 注意	誤った取扱いをすると、人が*軽傷を負ったり、*物的損害が発生したりする可能性がある内容を示します

上記分類において、

\*重傷：失明、ケガ、火傷(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの及び治療に入院・長期の通院を要するもの

\*軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないもの(上記重傷以外)

\*物的損害：家屋や家財及び家畜・ペットなどに及ぶ損害

お願い

本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



## 警告

本機には足首やひざ、体重を支える機能、痛みをとる機能、立ち上がる動作の補助機能は無いため、安全に歩行できない人は絶対に使用しないでください。また、次の症状の人は必ずかかりつけの医師や理学療法士に相談のうえ、その指導に従いご使用ください。

- 悪性腫瘍のある人
  - 心臓に障害のある人
  - 妊娠中または妊娠していると思われる人や出産直後の人
  - 糖尿病などによる高度な抹消循環障害による知覚障害のある人
  - 循環器系障害の人
  - 感覚障害の人
  - 平衡機能障害の人
  - 筋骨格系障害の人
  - 皮膚に創傷や異常障害のある人
  - 安静を必要とする人
  - リハビリテーション目的で使用される人
  - 体温38°C以上の人(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期。衰弱している時。)
  - 骨粗しょう(鬆)症の人
  - 捻挫や肉離れなどの急性疾患の人
  - 変形性疾患の人
  - 膝関節痛の人
  - 片麻痺の人
  - 背骨(脊椎)に異常のある人
  - 椎間板ヘルニア症の人
  - 医師から運動を禁じられている人(血栓症、重度の動脈りゅう、急性静脈りゅう、各種皮膚炎および皮膚感染症など)
  - その他、身体に特に異常を感じている時や医療機関で治療中の人
- 
- 認知症の方や精神疾患のある人は、専門医に相談の上、介添者のもとご使用ください。
  - 普段から装具、杖、歩行器、リフトなどを使用されている人は、必ずそれらを使用し、専門医に相談の上、介添者のもと使用してください。
  - 体力に不安のある人は、歩き過ぎによる体調不良を起こさないよう、十分注意してご使用ください。

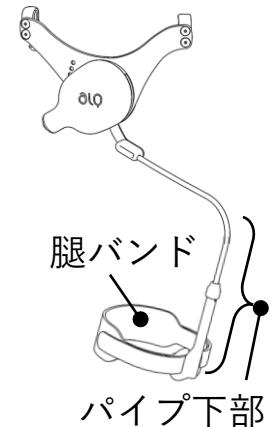
## 基本注意事項



### 警告

下記について異常が生じた場合直ちに使用を中止し、医師の診察を受けそ  
の指示に従ってください。

- 腿(もも)バンド装着により直接肌に触れると摩擦・静電  
気、ゴム・ナイロン・ポリエステル等、纖維素材による  
擦れ等でアレルギー体質の人が皮膚障害を生じた場合。
- 腿バンド装着により残留有機溶剤等の要因で皮膚障害・  
呼吸障害が生じた場合。
- 本機を装着中に発赤、痛み等異常や違和感が生じた  
場合。
- 本機を装着中に気分や体調が悪くなった場合。



下記は禁止事項です。絶対にしないでください。

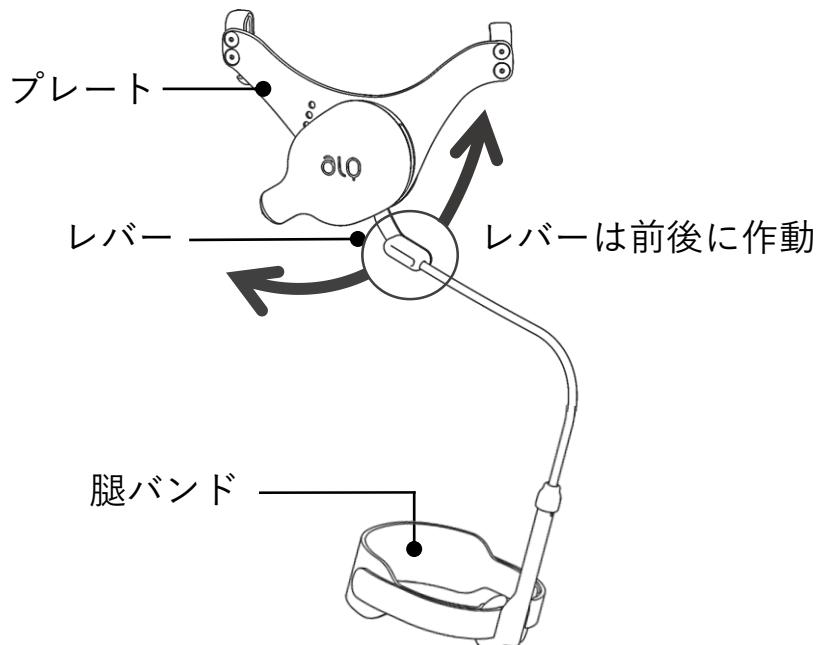
- 歩行できない人や一人で外出できない歩行の人は、使用しないでください。バランスを崩し転倒やケガの原因となります。
- 安静を必要としている人、身体に異常を感じている人は使用しないでください。
- 小さいお子様、乳幼児には使用させないでください。また、小さいお子様、乳幼児、ペットの近くで使用しないでください。ケガをするおそれがあります。
- 水のかかる状況(天候の雨や雪の場合も含む)や入浴での使用はしないでください、防水機能はありません。
- 浴室等湿気の多い場所で使用、保管はしないでください。故障、カビ、サビの原因になります。
- 埃、チリ、砂、泥等のある所で使用、保管はしないでください。
- 就寝時は本製品を装着しないでください。
- 飲酒、酔っぱらっている際は、使用しないでください。
- 本機を修理、改造しないでください。
- 本機を装着して自転車や自動車、機械や設備等の運転はしないでください。
- 本機に潤滑剤(油)を使用しないでください。故障の原因となるおそれがあります。
- 油分を多く含むもの(ハンドクリーム等)がパイプ下部(上部図に記載)に付着すると腿フックがズレやすくなります。ズレやすくなるとアシスト力が低下することがあります。パイプ下部に油分が付着しないようにしてください。また付着したら必ず拭き取ってください。
- アシスト力をむやみに強くしないでください。腰に負担がかかり歩行に悪影響を及ぼす可能性があります。



## 警告

下記は禁止事項です。絶対にしないでください。

- 危険な場所、足場が悪い場所(崖、積雪、凍結、雨地、水場、登山等)では、使用しないでください。引っ掛けたりやバランスを崩した際転倒や滑落のおそれがあります。
- 公共交通機関等混雑した場所で使用しないでください。他の人に接触して使用者や周りの人がケガをするおそれがあります。また、本機破損の原因となりケガをするおそれがあります。
- 歩行中は本機をモノや人にぶつけたり、引っ掛けたりしない様にご注意ください。
- 本機にモノ(荷物・袋など)を引っ掛けないでください。
- 押しつぶす、引っ張る、引き剥がす等実際の使用で発生する以外の力をかけないでください。
- プレートが折り曲がるような力がかからないようにしてください。破損する可能性があります。
- レバー作動部に指等を挟まないようご注意ください。
- 本機を焼却処理しないでください。燃焼した場合、有毒ガスが発生する危険があるため、初期消火時には十分注意のうえ行うとともに消防署へ通報してください。
- 腿(もも)バンドは静電気が発生する場合がありますので、引火性のおそれがある物質(ガソリン・ベンジン・灯油など)の近くで使用しないでください。





## 注意

装着の際は下記にご注意ください。

- 落ち着いて装着できる安全な場所で、(もたれられる場所や椅子があれば着座して)装着してください。
- 腰のベルトが緩いと本来の振り子の作動範囲が狭くなり効果が得られなくなりますので、体にフィットするようにしっかりベルトを締めてから装着ください。
- ご使用する腰のベルトの選定にあたって下記にご注意ください。  
革等の丈夫なベルトで、幅が3cm～4cmのものをご使用ください。  
本製品をベルトで固定させるため、細すぎるベルトや、緩みやすいベルト等は安全を損ない、正しい使用ができませんので使用しないでください。
- 腰ベルトは適切に締めてください、緩み過ぎにより製品がズレたり、締め付け過ぎによりうっ血する場合があります。長時間の締め付けで湿疹、かぶれる場合があります。
- 腰ベルトにクリップを装着する際、前後クリップをしっかりベルトに引っ掛けてください。正しく装着できていないとズレや外れでケガの原因となります。
- 腰のベルトがない状態で直接ズボン等の上部に引っ掛けて装着すると、作動時に緩んでしまい正しい使用ができません。また、安全を損なうため行わないでください。
- 対応目安は、身長145cm～180cmまでの方、膝上(約12cmの位置)の脚周りの寸法が60cm以下の方となっております。

- アシスト力をむやみに強くしないでください。腰に負担がかかり歩行に悪影響を及ぼす可能性があります。

下記歩き方速度に合わせてアシスト力を調整してください。最初は「弱」の設定で慣らしてからご調整ください。

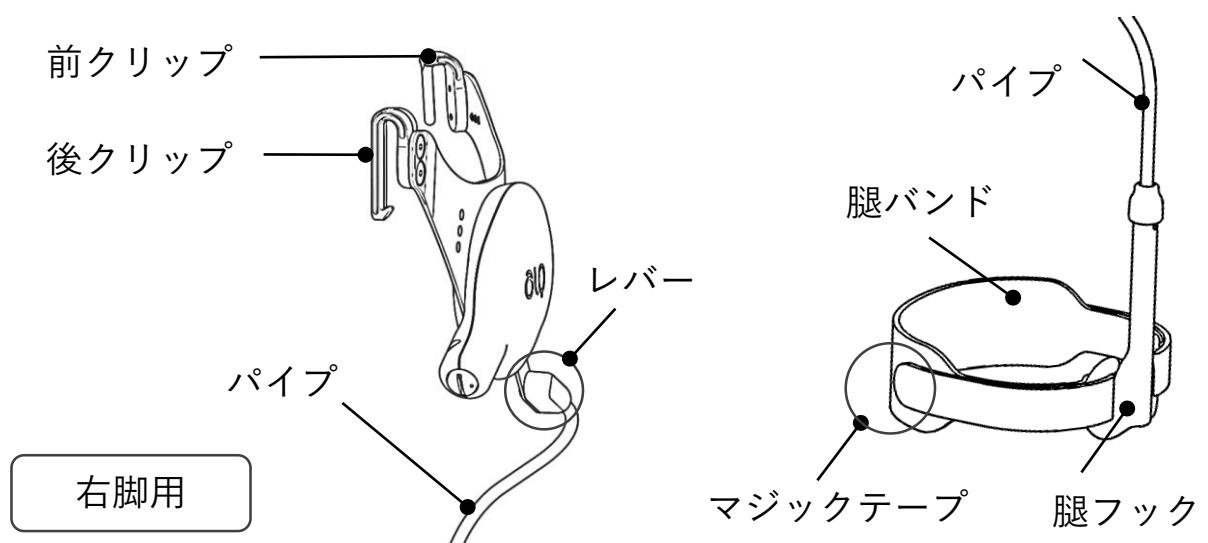
※アシスト調整方法詳細についてはP15をご覧ください。

歩き方 【速度】	とぼとぼ歩き 【ゆっくり】	テクテク歩き 【ふつう】	ぐいぐい歩き 【はやい】
※アシスト 調整位置	弱	中	強

## ⚠ 注意

その他、以下のことご注意ください。

- クリップ等による腰ベルトへの跡等の影響が考えられます。  
デリケートなベルト・衣服ではご使用にならないでください。
- 本機のレバー、クリップ、腿(もも)フック、腿バンドのマジックテープ等が、引っ掛けたりくっついたりしないような服装でご使用ください。
- 落としたり、物にぶつける等、強い衝撃を与えないでください。  
破損するおそれがあります。
- 腿フックはパイプから抜けません。無理に抜こうとすると破損やケガをする可能性があります。
- 家具(椅子や手すり等)や建物等にぶつかると傷をつけることがありますのでご注意ください。
- 持ち運びの際、モノや人にぶつからない様にしてください。
- 浴室等湿気の多い場所、埃、チリ、砂等のあるところで使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所や、炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具(ストーブ等)の付近での使用は避けてください。熱により変色や変形のおそれがあります。
- 本機をトイレ等のフックに引っ掛ける際、本機が落下するとケガや破損につながるおそれがありますので下記にご注意ください。
  - ・腿バンドはリング状にして腿フックに引っ掛け、マジックテープがしっかりとくっついている事を確認し、腿バンドをフック等に引っ掛けしてください。
  - ・引っ掛けた本機に物や体が接触しないようにしてください。





## 注意

### 日常点検

- ご使用前に下記点検を行ってください。

異常があるときは販売店へメンテナンスをご依頼ください。

- ・クリップ接続部、レバー接続部のネジの緩み、ボルトの緩みはないか
- ・異常なグラつき等ないか
- ・破損していないか

### お手入れ方法

- 水等で洗濯したり、水をかけたりしないでください。

- 水等に濡らすと錆や故障の原因となります。

- 汚れや埃等は布等で拭き取ってください。汚れがひどい所は、中性洗剤を柔らかい布等に染み込ませて固くしぼって拭き取って乾かしてください。

- 濡れたり汗をかいたりしたときは、風通しの良い場所で日陰干しし、乾かしてください。

- ガソリン、シンナー、ワックス、溶剤、アルカリ性洗剤、薬品等で拭かないでください。

- 潤滑油等をささないでください。

- 腿バンド(布製品)は次のとおりお手入れください。

- ・汚れたら水、又はぬるま湯で手洗いください。塩素系洗剤や漂白剤を絶対使わないでください。

- ・洗濯機、ドライクリーニングは絶対使用しないでください。

- ・直射日光を避け、必ず日陰干しで吊るして乾かしてください。

- ・濡れた状態で他のものと接触させると色移りが起こるのでご注意ください。

- 部品交換時は必ず純正部品を使用してください。

### 保管方法

- 腿バンドを保管する場合は、変形を防ぐためにシワや折れの無いように広げた状態で保管ください。

- 小さいお子様や乳幼児、認知症の方が触れられない場所で保管してください。

- 次のような場所で保管をすると故障の原因になりますので、下記項目を避けて保管ください。

- ・湿気の多い場所や水等がかかる場所

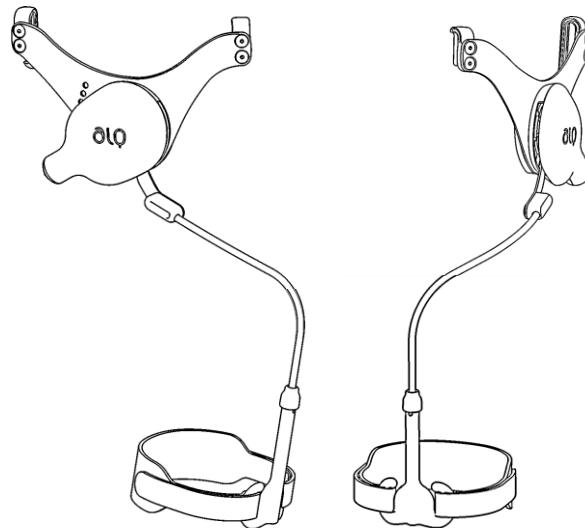
- ・直射日光のあたる場所、炎天下の車内等、高温になる場所や火気の近く等

- ・砂や埃の多い場所※長い間使用されない場合は、カバー等をかけて埃が付かないようにしてください。

## ●内容物のチェック

本機は、左右それぞれ下「図1」のように組み上がって梱包されていますが、梱包運搬時や製品を箱から取り出す際に膝ベルト等外れてしまう場合がございます。下記「部品項目」をご確認ください。その他、本書(取扱説明書)が入っています。

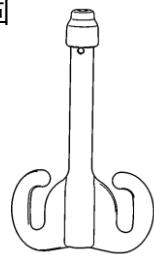
図1



### 部品項目

#### 腿フック

- 左右各1個



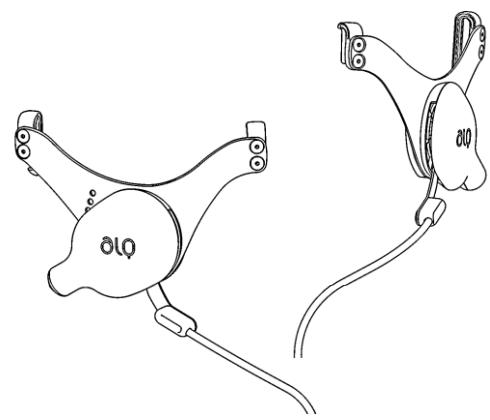
#### 腿バンド

- 左右各1個

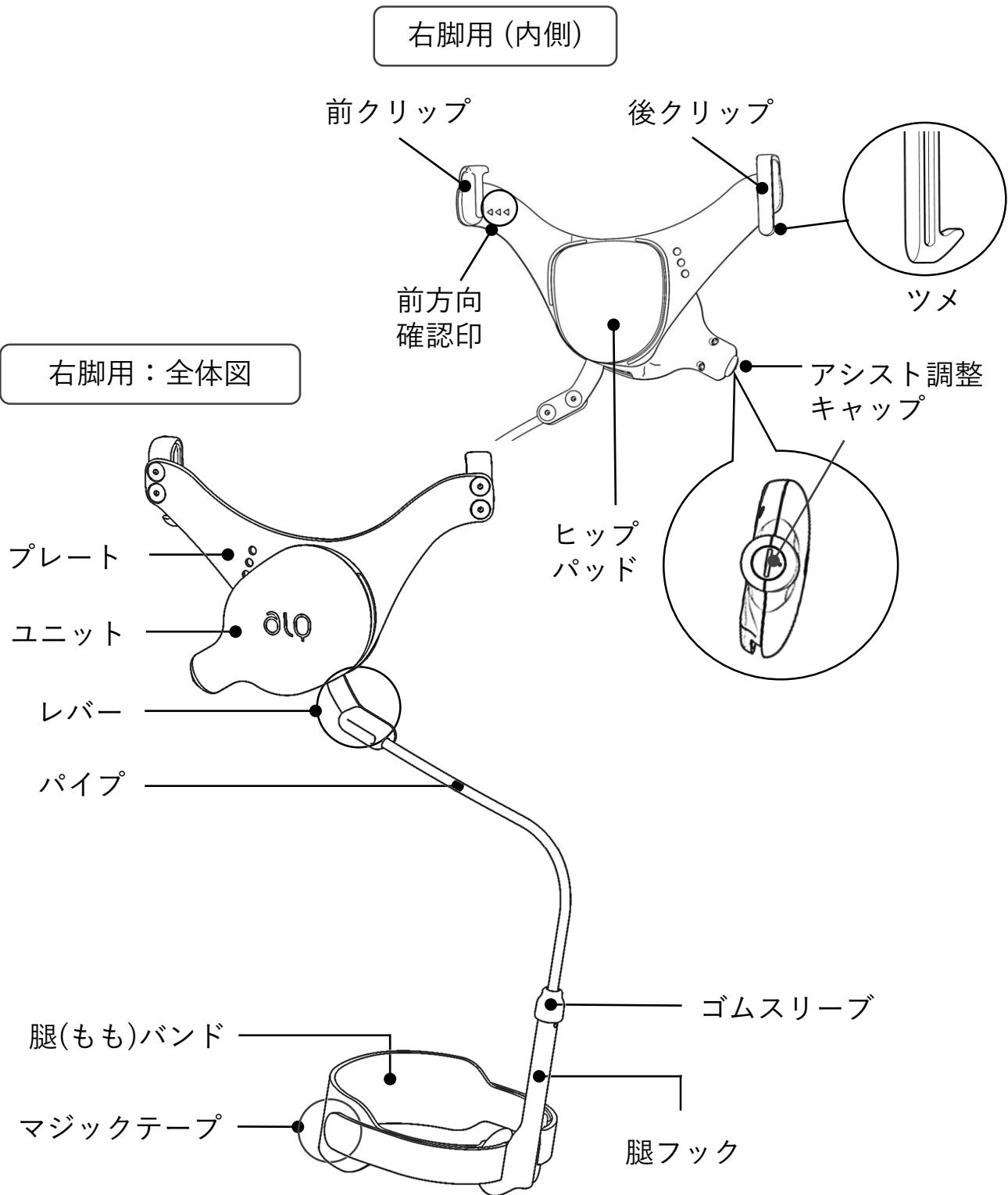


#### ユニットASSY

- 左用 1個
- 右用 1個



全体図、名称



## 事前に腰ベルトをご着用ください

※ 腰ベルトが緩んでいるとズレが発生する場合があります。

ご使用時は、緩まないようにしっかり締めてからご使用ください。革等の丈夫なベルトで、幅が3cm～4cmのものをご使用ください。

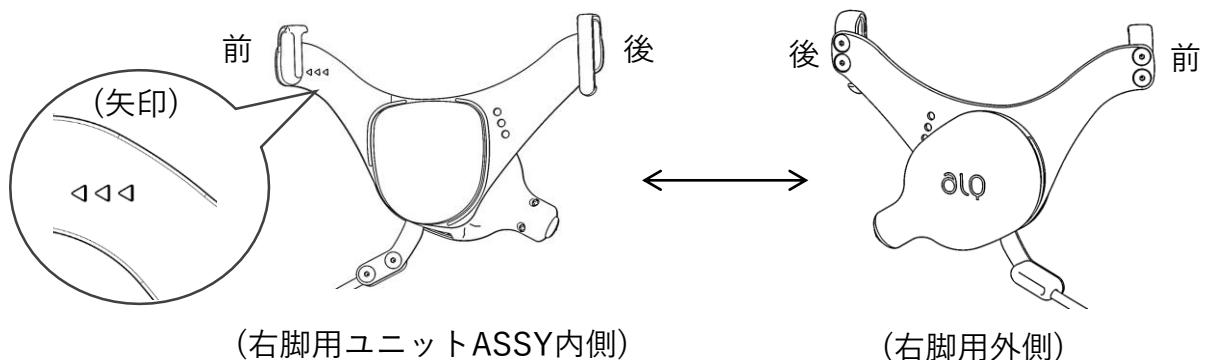
※ 落ち着いて装着できる安全な場所で、装着してください。

※ 腰のベルトがない状態で直接ズボン等の上部に引っ掛け装着すると作動時に緩んでしまい正しい使用ができません。また、安全を損なうため行わないでください。

### 1. 装着前に機器の前方向を確認する

○プレートの内側に下図のように矢印があります。

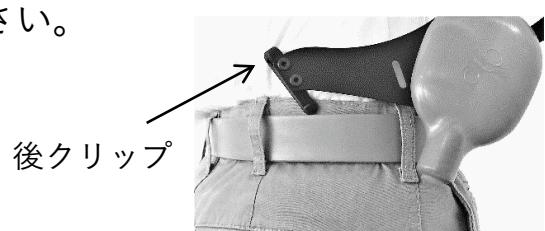
矢印がある方が前側になるように右脚・左脚用を確認してください。



### 2. クリップを腰ベルトに引っ掛ける

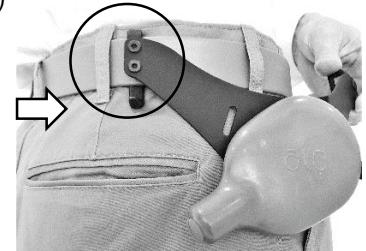
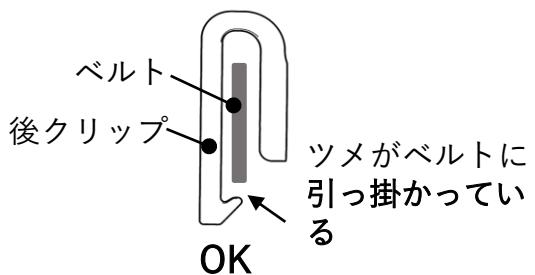
①体の真横より僅かに後方となる位置で、後クリップをズボンと腰ベルトの隙間に挿入してください。

※ 前クリップ（ツメ無）、後クリップ（ツメ有）を間違えない様に注意してください。



## 装着方法

②後クリップのツメ部がベルト下部に引っ掛かっているのを確認してください。（➡ 方向(後方)から見た、後クリップの状態）



③前クリップをズボンと腰ベルトの隙間に挿入してください。  
前クリップ上部がベルトに当たるまで挿入してください。



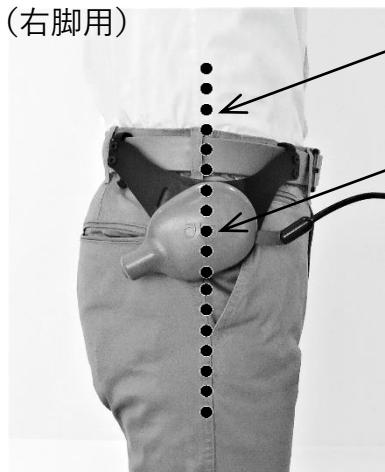
### check

- 腿(もも)の前方にパイプがありますか？
- 前後クリップがベルトにしっかりと引っ掛かっていますか？
- 後クリップのツメが腰ベルト下部に引っ掛かっていますか？

### 3. ユニット位置の調整

○ユニットの円形部の中心が体の真横にくるように、ユニットの位置を前後にずらし調整してください。

(右脚用)



体の真横となる中央ライン  
(ズボンの縫い目)

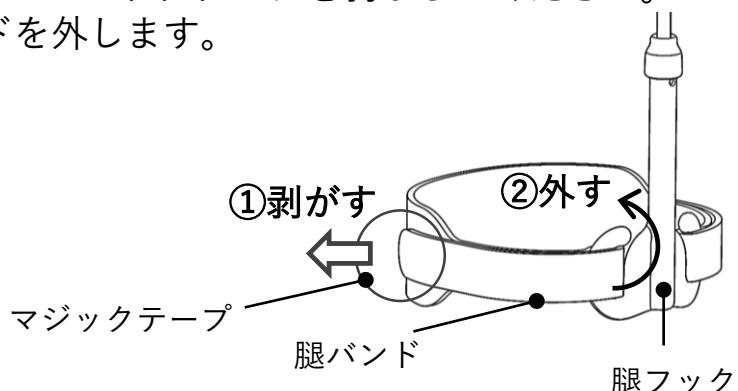
ユニットの円形部の中心

### check

- 横から見ると、ユニットの円形部の中心が体の真横となる中央ライン上の位置にありますか？

#### 4. 腿(もも)バンド装着

- ①腿バンド先端部(片側)のマジックテープを剥がしてください。
- ②腿フックから腿バンドを外します。



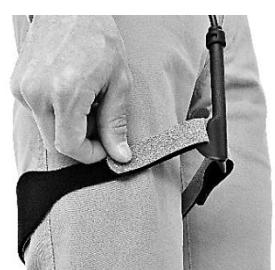
- ③外した腿バンドのマジックテープ部を持ち、腿バンドを腿の後ろから前に引き回します。



- ④腿フックに腿バンドを引っかけて、そのまま折り返してください。



- ⑤腿の後ろから引き回した腿バンドの黒色の面にマジックテープ部をくっつけ指で押さえます。  
※腿と腿フックの間は隙間ができるように留めておきます。



※腿バンドの灰色の面を腿に触れる面にするとマジックテープが着け易くなります。



注意

装着の際、腿バンド部のバネによる跳ね返りによって、使用されている方や周りの方、お子様等の顔や目等に当たらない様ご注意ください。

## 5. パイプの長さ調整

○パイプを持ち、腿フックを上下にスライドしてパイプの長さを調整します。腿(もも)バンド位置が膝(ひざ)中心より約12cm上になるように調整してください。(参考: 腿フックの長さが約12cm)

(パイプ調整)

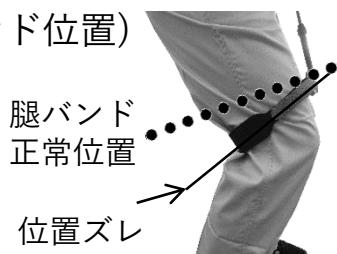


※膝下には装着しないでください。

※パイプは最長まで伸ばすとストップバーで止まります。

※腿バンドを装着するまでは、椅子に座って行うこともできますが、パイプ調整は立って行ってください。

(腿バンド位置)

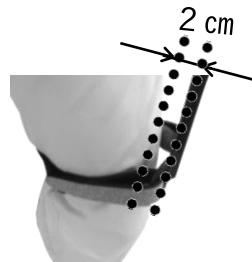


check

腿バンドが膝中心より約12cm上にありますか？

## 6. 腿(もも)バンドの固定

○腿(もも)と腿フックの間に必ず指1本分(2cmくらい)が余裕で入る隙間をあけて、バンドの先端部を引っ張り長さ調節をして、マジックテープを留めてください。※腿と腿フックの間は必ず隙間をあけてください。



※装着方法4.~6.の腿バンドの調整は、下記のようにすると次回からの手間が省けます。P17「取外し方法①」のように腿バンドをリング状のまま外し、装着の際もリング状のまま腿フックに引っ掛けられます。

check

腿と腿フックの隙間は指1本(2cmくらい)空いていますか？

## アシスト力調整方法

アシスト力を調整する際は、必ず腿バンドを外してから行ってください。

○アシスト調整キャップ先端の凹部分に硬貨を引っ掛け、左右に回転させて調整します。

○調整キャップに凸印があり、その位置を「弱」「中」「強」の各範囲内に回転させて設定してください。

※下図調整可能範囲外へは調整できません。一定の位置で止まったらそれ以上回転させないでください。破損するおそれがあります。

※工場出荷時のアシスト力は「中」の位置に設定しております。

## アシスト調整方向

左脚用右脚用とも、下記調整方向で調整してください。

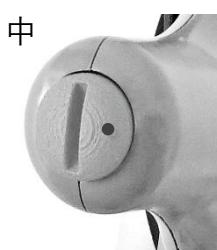
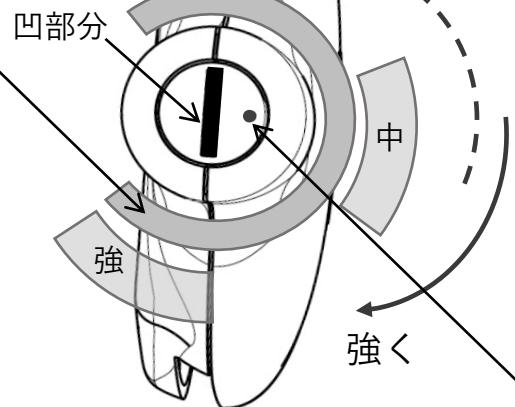
- ・強く — 時計回り
- ・弱く - - - 反時計回り

(図:右脚用)

※左右対称となります。



凸部の調節可能範囲



※凸印:写真は分かりやすくするために色をつけています。

歩き方 【速度】	とぼとぼ歩き 【ゆっくり】	テクテク歩き 【ふつう】	ぐいぐい歩き 【はやい】
アシスト 調整位置	弱	中	強

凸印  
※手で触ると少し  
膨らんでいます。



注意

アシスト力をむやみに強くしないでください。腰に負担がかかり歩行に悪影響を及ぼす可能性があります。歩き方速度に合わせてアシスト力を調整してください。必ず「弱」で慣らしてからご調整ください。

## 装着後のチェック

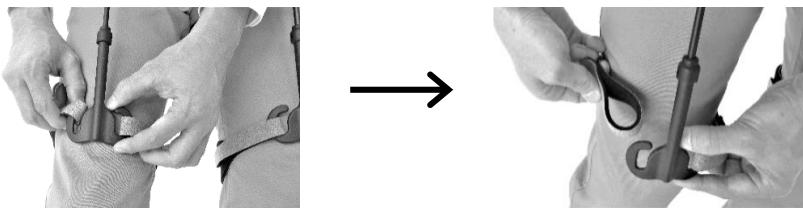
○必ず下記の装着ポイントのチェックを行ってから歩行を開始してください。



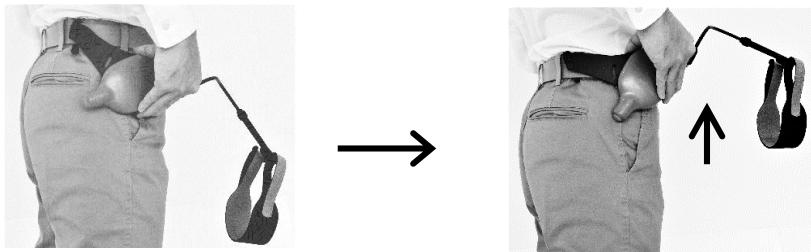
## 取外し方法

※落ち着いて取り外しができる場所で、取り外してください。

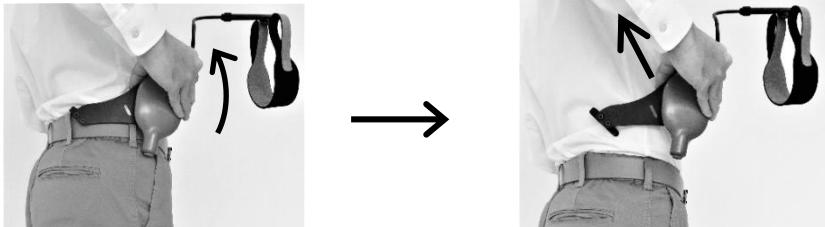
- マジックテープは外さずリング状のまま腿バンドを外します。  
その状態で再度装着すれば腿バンドの長さ調整が省けます。



- ユニットを持ち前クリップを上に上げて外します。



- プレートを後ろに回転させながら持ち上げ、後クリップを外します。



※右脚用を示していますが左脚用も同様に行ってください。

取り外しは椅子に座った状態でも行うことが出来ます。



注意

- 取外しの際は、必ず最初に腿バンドを外してください。腿バンドを装着したままクリップを外すと、本機が落下しやすくなり大変危険です。
- 腿バンド部のバネによる跳ね返りによって、使用される方や周りの方、お子様等の顔や目等に当たらないようご注意ください。

## トイレ等のフックに引っ掛ける場合

腿バンドはリング状にして腿フックに引っ掛け、マジックテープがしっかりとくっついている事を確認し、腿バンドをフックに掛けてください。



注意

物や体が接触し本機が落下しないようご注意ください。



**●ユニットASSYが腰ベルトから外れる**

- ・後クリップのツメが腰ベルトにきちんと引っかかっているか確認してください。引っかかっていない場合は腰ベルトにしっかりとツメを引っかけてください。
- ・後クリップのツメが欠けていないか確認してください。

**●レバーが作動しない**

- ・ユニットとレバーの間に衣類または異物が入り込んだり挟まるような状態になっていないか確認してください。

**●脚が斜め前に出される感じがする**

- ・ユニットの位置が体の側面より前後に大きくズレている場合は、左右のユニットを進行方向と平行にしてください。
- ・パイプから腿フックにかけての位置が、腿（もも）の前方中心にあるか確認してください。ズレていた場合は装着チェックポイントを参照し、位置を正してください。

**●歩行中、調整した位置から腿バンド、腿フックが動いてしまう**

- ・ゴムスリーブは消耗品です。アフターサービスのご用命は保証書のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

**●アシスト力の調整が出来ない**

- ・腿バンドを着けたままアシスト調整キャップを回すことができません。アシスト力の調整は装着していない状態で行うようにしてください。

**●腿バンドのマジックテープによる固定が出来ない**

- ・マジックテープに埃等が付き粘着力が低下していないか確認してください。腿バンドは消耗品です。アフターサービスのご用命は保証書のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

## 保証書

- 本取扱説明書には保証書がついています。販売店名・お買い上げ日等、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### ●修理を依頼されるときは

- ・保証書に記載の弊社お問い合わせ窓口、またはお買い上げの販売店までご連絡ください。
- ・お問い合わせの際は、お手元の保証書をご準備ください。

### ●保証期間中の修理は

- ・保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理致します。
- ・保証期間外については、修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理と致します。

### ●お問い合わせ窓口 フリーダイヤル 0120-80-2721

受付時間8:30~17:00 月曜日~金曜日 (祝日・弊社休業日を除く)

## 仕様

品名	aLQ by ACSIVE
適応身長	145cm~180cm
組立時 本体長さ	Min 約 43cm Max 約 56cm
本体腿バンド 調整寸法	Max 60cm
質量	約 760g(両脚)
素材	腿ベルト:合成ゴム、ナイロン、 ポリエステル 他:プラスチック、鉄、アルミ

MADE IN JAPAN

※本製品は改良のため、予告なくデザインや仕様などが変更になる場合があります。

2017年6月 第1版発行  
2018年1月 第2版発行

## 保証書

aLQ by ACSIVE

保証書

型式名	aLQ by ACSIVE	保証対象	本体
保証期間	お買い上げ日から1年	お買い上げ日	年 月 日
フリガナ			
お名前	様		
ご購入者	〒 ご住所	販売店	
tel		tel	

## 【無料修理規定】

- 取扱説明書の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させて頂きます。無料修理をご依頼になる場合は、おそれりますが、販売店へ本製品に保証書（購入日の記載がない場合は購入時のレシート又は領収書）を添えてご持参ください。
- ご転居・ご贈答品などで、本保証書に記載してあるご販売店に修理をご依頼できない場合は、保証書に記載のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は、有償修理になります。
  - 弊社検印付の本保証書のご提示がない場合
  - 機能上影響のない、軽微な不具合（音、振動等）
  - 使用上の消耗劣化
  - 使用上の誤り及び不調な修理や改造による故障及び破損
  - お買い上げ後の落下などによる事故及び損傷
  - 火災、震災、水害、落雷、その他の天災地変、公害などによる故障及び損傷
  - 弊社が規定する仕様、使用方法、取扱方法、保管方法等、取扱説明書記載以外の使用に起因する不具合
  - 故障判断資料の不十分なもの及び損傷部分を紛失された場合
  - 消耗品および油脂類（プラスチック、ゴム部品、ボルト、ナット類、その他上記に類する部品）
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

株式会社 今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市字柿畠1番地

お問い合わせ窓口 フリーダイヤル 0120-80-2721

受付時間 8:30~17:00 月曜日~金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

左脚用	検印
右脚用	
取扱説明書	